

安全データシート

(SDS)

製品及び製造者情報

製造者名 一般社団法人日本粉体工業技術協会

住 所 〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181
第5キョートビル7階

担 当 部 署 粉体工業技術センター 製造事業部門

電 話 番 号 075-354-3583 F A X 番 号 075-352-8530

E - m a i l : testpowders@appie.or.jp

連 絡 先 同上

作 成 日 2015年 9月 25日

改 訂 日 2025年 6月 18日

製 品 名 (化学物質名):

JIS 試験用粉体1の7種、8種及び11種(相当品)、

SAP 試験用粉体3の3種(焼成関東ローム)

危険有害性の要約

[GHS分類]

物理化学的危険性	分類結果
爆発物	該当しない
可燃性ガス	該当しない
エアゾール	該当しない
酸化性ガス	該当しない
高压ガス	該当しない
引火性液体	該当しない
可燃性固体	該当しない
自己反応性化学品	該当しない
自然発火性液体	該当しない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	該当しない
金属腐食性化学品	分類できない

環境に対する有害性	分類結果
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない

健康に対する有害性	分類結果
急性毒性(経口)	区分5 (CaO)
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入: 気体)	該当しない
急性毒性(吸入: 蒸気)	該当しない
急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分1C (CaO)・区分2 (Fe ₂ O ₃)
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2 (MgO)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分2 (SiO ₂)

発がん性	区分1 A (SiO ₂)・区分2 (TiO ₂) 第1群 (日本産業衛生学会) (SiO ₂)・第2群B (日本産業衛生学会) (TiO ₂)
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分1 (呼吸器系の刺激) (CaO) 区分3 (呼吸器系の刺激) (MgO・Fe ₂ O ₃)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分1 (呼吸器、免疫系、腎臓) (SiO ₂ ・CaO・Fe ₂ O ₃)
誤えん有害性	分類できない

* 関東ロームは天然物である。電子顕微鏡等の結果から混合物として存在している。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



危険有害性の要約(一般事項)

- 危険性 : 床にこぼれた場合、舞い上がる恐れがある。不燃物で火災・爆発性はない。
粒子が目に入ると粘膜に刺激を覚えることがある。
- 有害性 : 粉じんを長時間吸い続けると呼吸器系疾患の原因となる恐れがある。
粉体が皮膚に付くと、まれにかぶれる事がある。

組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：単一製品
化学名又は一般名：関東ローム焼成粉末
(関東ローム：関東地方に広く分布する火山灰質土壌)
(焼成：回転電気炉により 800℃にて焼成)

CASNo.	官報公示 整理番号	化学成分	質量百分 %
14808-60-7	(1)-548	SiO ₂ (混合物結晶性シリカ・非遊離)	34-40 % (12-14 %)
1344-28-1	(1)-23	Al ₂ O ₃ (酸化アルミニウム)	26-32 %
1309-37-1	(1)-357	Fe ₂ O ₃ (酸化鉄)	17-23 %
1309-48-4	(1)-465	MgO (酸化マグネシウム)	3-7 %
13463-67-7	(1)-558	TiO ₂ (酸化チタン)	0-4 %
1305-78-8	(1)-189	CaO (酸化カルシウム)	0-3 %
		強熱減量	0-4 %

応急措置

目に入った場合 : 清浄水で洗眼する、痛みがある場合は医師の手当を受ける。

皮膚についた場合 : 特に問題なし。払い落として水道水で良く洗う。

経口摂取した場合 : 衛生上問題はないが、体内で消化吸収されないので大量に摂取した
(吸入、飲み込み) 場合は医師の診断を受ける。(通常の土や砂と同様)
少量(数グラム程度)の場合は体外に自然排出される。

火災時の措置

消火方法 : 燃えず、反応もしない。特別な処置は不要である。

消火剤 : 各種消火剤を使用しても問題なし。

漏出時の措置

床などにこぼれた場合は舞い上がることもあるので、速やかにモップなどで清掃する。

取扱い及び

取扱い : 粉じん障害防止規則、管理濃度、許容濃度に従って、飛散させないように静かに取り扱う、

保管上の注意

吸い込んだり眼に入る恐れがあるので必要に応じ保護マスク、保護眼鏡を着用等の対策をとる。

保管 : 容器を密封し、常温常湿の屋内に保管する。

暴露防止及び

管理濃度 : 0.03 mg/m³ (参考) ※※

保護措置

許容濃度 : 吸入性粉塵 0.03 mg/m³
設備対策 : 発じん場所は局所排気を設け、周りにこぼれないよう囲いをする。
局所排気は外部へ飛散しないように、集じん設備を設ける。
保護具 : 【呼吸用保護具】 : 適切な防じんマスクを着用すること。
【保護眼鏡】 : 状況に応じ防じん保護眼鏡を着用すること。
【保護手袋】 : 状況に応じ保護衣及び保護手袋を着用すること。
【保護衣】 : 特に必要ない。
※※結晶性シリカが遊離していると仮定した場合の参考値。

物理／化学的性質

外観等 : 褐色、微粉末、無臭 粒子密度 : 2.9～3.1 g/cm³
融点 : データなし
溶解度 : 水、有機溶剤、酸、アルカリに不溶

安定性及び反応性 安定性・反応性 : 熱・光・衝撃に安定、引火性及び爆発性はなし。

有害性情報

急性毒性 : がん原性、皮膚等障害等に注意が必要である。
刺激性 : 特にないが、皮膚につくとまれにかぶれることがある。
その他 : 長期にわたり飛散した微細粉じんを吸い込むと、呼吸器系疾患の恐れがある。

環境影響情報

移動性 : 微細な粉じんは、空気中に飛散しやすい。
蓄積性 : なし
環境影響 : 粉じんを外部へ排出すると粉じんによる環境汚染の恐れがある。
その他 : なし

廃棄上の注意 一般的な産業廃棄物として処理できるが、地方自治体の基準に従うこと。

輸送上の注意

運搬に際しては容器等に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷の発生がないように積載し荷崩れの防止を確実に行う。
国連分類 : 非該当
国連番号 : 非該当

摘要法令

労働安全衛生法 : 労働安全衛生法施行令別表第9（名称等を表示・通知すべき危険有害物。令和7年4月1日から労働安全衛生規則別表第2）結晶質シリカ、酸化鉄、酸化チタン、酸化カルシウム、（令和8年4月1日から、左記に加え、酸化マグネシウム）
労働安全衛生規則第577条の2（がん原物質）結晶質シリカ
労働安全衛生規則第594条の2（皮膚等障害化学物質等）酸化カルシウム
粉じん障害防止規則第2条第3号、別表第1（粉じん作業）
じん肺法 : 第2条第3号、別表（粉じん作業）
PRT法 : 第一種指定化学物質及び第二種化学物質含有 なし
毒劇物取締法 : 該当物質の含有 なし
内分泌攪乱物質 : 対象物質の含有 なし

その他

参考文献:

- ・労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付等の義務対象物質一覧
（令和7年4月1日施行分）（令和8年4月1日追加分）
- ・JIS Z 7252 GHSに基づく化学品の分類方法（2019）
- ・JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（2019）
- ・日本産業衛生学会：許容濃度等の勧告（2024年度 日本産業衛生学会）

[記載事項の取り扱い]

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも充分ではないため、取り扱いには充分注意して下さい。また、このSDSは現在知り得る範囲において誠実に作成しておりますが、これをもってなんら保証するものではありません。ここに記載してある注意事項は通常の取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いの場合は、用途・方法に適した安全対策を講じて下さい。

以上（全3頁）